

みんなであつなく

平成13年4月10日発行（毎月1回10日発行）通巻第101号 発行／財団法人 ダム水源環境整備センター ダム広報センター  
所在地／〒102-0083 東京都千代田区麴町2-14-2 TEL03-3263-9051

# ダム水源地球ネット

2001.4月号 4

散歩道  
ダムと水源地

こちらダム水源地  
温井ダム完成に期待膨らむ

地域活性化レポート  
札内川ダムに自然を生かした村づくりを期待して

情報ホットライン  
平成13年度河川総合開発事業関係予算の概要



# 四時ダム

渓谷の水、なこそ勿来の関に散るサクラ



今月の水源地

## 四時ダム

渓谷の水、勿来の関に散るサクラ —— 2

今月の行事 —— 4

散歩道(バセオ)

## ダムと水源地 藤吉洋一郎 —— 5

ワンポイント・ゼミナー

## 水源地対策のあゆみ(その2) —— 6

特別企画

## 「世界水フォーラム運営委員会設立」について —— 8

こちらダム水源地

## 温井ダム完成に期待膨らむ —— 10

地域活性化レポート

## 札内川ダムに 自然を生かした村づくりを期待して —— 11

情報ホットライン

## 平成13年度河川総合開発事業関係予算の概要 —— 13

トピックス —— 15

(今月の表紙)

四時ダム ツツジが咲き誇るダム湖畔

編集事務局：財団法人 ダム水源地環境整備センター ダム広報センター

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町2-14-2

TEL 03-3263-9051 FAX 03-3263-9085

http://www.wec.or.jp/

E-mail:koho@wec.or.jp

福島県いわき市は、東京と仙台のほぼ中間に位置しており、太平洋に面した、日本一の広域都市です。

四時ダムは、阿武隈山系朝日山(標高797m)に源を発する二級河川鮫川の支川、四時川に昭和59年に完成した総貯水容量1200万m<sup>3</sup>のダムです。

このダムは、洪水調節、水道用水および工業用水の確保の機能を併せ持つ多目的ダムとして建設されました。

ダム周辺には、ハイキングに最適な自然に恵まれた四時川渓谷がひろがっています。さらに毎年7月には、地元住民主催により「四時ダム」まつりが開催され、平成12年度には、市内外から約4000人の来場者がありました。

そのほか市内には、国宝「白水阿弥陀堂」をはじめとする歴史的建造物が散在するとともに、源義家が奥州征伐の折に「吹く風を勿来の関と思えども 道もせに散る山桜かな」と詠んだことで有名な「勿来の関」があります。

また、市内中央部には、道後温泉・有馬温泉と共に日本の三大古泉として有名な「いわき湯本温泉」があり、豊富な湯量を求め多くの観光客でにぎわっています。

さらに、県内随一の国際港である小名浜港には、東北最大の規模を誇る、学習機能を備えた水族館「アクアマリンふくしま」が平成12年7月に開館し、新たな観光スポットとして人気を集めています。このように多くの観光拠点と風光明媚な自然に恵まれないわき市へ是非一度お越しください。

いわき市のおみやげ  
いわき市のイベント  
交通

サンマみりん干し、ウニの貝焼き、ナン  
いわきおどり、平七夕まつり、いわき時代まつり  
JR常磐線勿来駅から車で15分  
常磐自動車道いわき勿来ICから車で10分。

いわき市土木部河川課 館 典嗣  
( ☎ 〇二四六 一三一 七四九二 )

4月

《東北》

- 29日(日)/前川ダム清掃(場所:山形県上山市前川ダム周辺)  
主催/日本へら鮎釣研究会山形地区協議会 伊藤(代)  
【☎023-672-3744】
- 30日(月)/四十四田ダムファミリーレイク祭(場所:岩手県盛岡市)  
主催/北上川ダム統合管理事務所【☎019-643-7972】  
内容/ダムの巡視、監査廊見学。
- 下旬/さくらまつり(場所:山形県長井市)主催/長井市・長井市観光協会【☎0238-88-5279】  
長井市には長井ダムがある。

《関東》

- 21日(土)~5月13日(日)/第13回竜神峡鯉のぼりまつり(場所:茨城県水府村竜神ダム湖上)主催/水府村・水府村観光協会  
【☎0294-85-1116】
- 22日(日)~5月6日(日)/鯉のぼりまつり(場所:群馬県万場町)  
主催/同実行委員会 内容/G・W期間川原でイベント実施。【万場町観光協会☎0274-57-2414】  
万場町周辺には塩沢ダムがある。
- 27日(金)/小山ダム定礎式(場所:茨城県高萩市)主催/茨城県  
【☎029-301-4495】・同実行委員会 内容/定礎式。

《近畿》

- 22日(日)~5月6日(日)/匠の聚アートフェスティバル(場所:奈良県川上村)主催/匠の聚 内容/写真コンテスト、穴窯陶芸体験(人数制限あり)等。川上村東川匠の聚ギャラリー  
【☎07465-3-2381】川上村では大滝ダムを建設中。

《中国》

- 3月24日(土)~5月6日(土)/奥津の春とダム見学(場所:岡山県奥津町)主催/苫田ダム工事事務所 内容/期間内の土・日・祝日にバスによるダム工事現場の案内を行う。  
【インフォメーションセンター☎0868-52-2035】
- 22日(日)/みやび湖マラソンウォーク大会(場所:島根県三隅町・美都町・弥栄村・御部ダム周辺・道猿坊公園)主催/同実行委員会【小松☎0855-35-1500】  
内容/ウォーク当日参加可。
- 29日(日)/白樺まつり(場所:島根県広瀬町)主催/布部ダム公園管理運営委員会 内容/演芸、モデル撮影会、食道楽出店コーナー。【広瀬町立布部公民館☎0854-36-0001】
- 下旬/尾原ダム菜の花まつり(場所:島根県木次町北原~仁多町林原地先)主催/尾原ダム三団地連絡協議会・温泉地区尾原ダム周辺地域活性化対策協議会・仁多町尾原ダム連絡協議会・NPO斐伊川くらぶ・木次町・仁多町 内容/地元移転者等協力のもと菜の花畑等を創出し、まつりを開催。  
【斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 調査設計第二課☎0853-21-1650】

《九州》

- 15日(日)~5月13日(日)/ダム湖におよぐこいのぼり(場所:大分県国東町行入ダム湖)主催/行入見来会  
【パークゴルフクラブハウス☎0978-72-3115】
- 15日(日)~5月15日(火)/杖立温泉鯉のぼりまつり(場所:大分県大山町松原ダム湖上流)  
主催/杖立温泉観光協会【☎0967-48-0206】
- 29日(日)/第13回大串ふうぞう祭り(場所:佐賀県富士町)主催/大串ふるさとカンパニー 内容/地元の人と一般の人との交流会。【富士町産業課江口☎0952-58-2111】  
富士町には嘉瀬川ダムがある。
- 下旬/緑川ダム放流連絡協議会(場所:熊本県砥用町)  
主催/緑川ダム管理所【☎0964-48-0216】
- 《沖縄》  
下旬/漢那ダム鯉のぼり掲揚式(場所:沖縄県宜野座村)

主催/北部ダム統合管理事務所漢那ダム管理支所  
【☎098-968-5262】

5月

《北海道》

- 1日(火)/滝里ダム資料館オープン(場所:北海道芦別市滝里町)  
主催/石狩川開発建設部滝里ダム管理所  
【☎01242-4-4111】【資料館☎01242-7-3939】
- 上旬~中旬/ひがしやま湖水と緑に親しむつどい(場所:北海道初山別村)主催/同実行委員会 内容/有明ダム見学、等。  
【初山別村建設課☎01646-7-2211】

《東北》

- 10日(木)~31日(木)/白つつじまつり(場所:山形県長井市)  
主催/長井市観光協会【☎0238-88-5279】
- 13日(日)/全国白川ダム湖畔マラソン大会(場所:山形県飯豊町)  
主催/同実行委員会【飯豊町社会教育課社会体育係☎0238-72-3111】飯豊町には白川ダムがある。
- 13日(日)/葉山民衆登山(場所:山形県長井市)主催/長井市  
【商工観光課☎0238-84-2111】・長井市観光協会
- 13日(日)/レークピア白水自然観察&クリーン大作戦(場所:山形県東根市白水川ダム周辺)内容/市民参加での清掃、カヌー等。  
主催/東根市【総合政策課 柴田☎0237-42-1111】
- 下旬/「漆沢山菜まつり」(場所:宮城県小野田町漆沢ダムいわなの里湖畔公園)主催/漆沢地区青年部・同婦人部  
【小野田町総務課 高橋☎0229-67-2111】

《中部》

- 13日(日)/いびがわウェルネス祭り(場所:岐阜県揖斐川町中央公民館)主催/揖斐川町【☎0585-22-2111】内容/パネル展示他による環境展。【保健センター☎0585-22-1511】  
揖斐川周辺には徳山ダムがある。
- 27日(日)/揖斐川本流クリーン大作戦(場所:岐阜県揖斐川流域)  
主催/日本のど真ん中『いびがわ』ミズみずフェスタ実行委員会 内容/揖斐川の清掃。申込み5月9日まで。  
【揖斐川中部漁業協同組合☎0585-22-0012】

《中国》

- 27日(日)/第26回にちなみ湖畔マラソン大会(場所:鳥取県日南町菅沢ダム湖畔)主催/同実行委員会  
【日南町総合文化センター☎0859-77-1111】

《四国》

- 3日(木)/のむらダム祭り(場所:愛媛県野村町)主催/野村町観光協会 内容/湖上鯉のぼり、朝霧湖マラソン、子供相撲大会、等。【野村町商工観光課☎0894-72-1115】
- 3日(木)~6日(日)/彩恋こい鯉まつり(場所:徳島県上勝町)  
主催/月ヶ谷温泉【☎08854-6-0203】  
上勝町には正木ダムがある。
- 13日(日)ㄹ雨天20日/福井ダムまつり(場所:徳島県福井町)  
主催/同実行委員会 内容/バンド演奏、ダム見学会、緑化パネル展示等。  
【徳島県阿南土木事務所☎0884-22-3111】
- 21日(月)/吉野川水源の森交流事業(場所:高知県本山町早明浦ダム周辺)主催/四国地方整備局・徳島県・香川県・高知県・地元町村 内容/香川県内の中学生による植樹等。  
【吉野川ダム統合管理事務所管理課☎0883-72-3000】

《九州》

- 5日(土)/鯉のつかみ取り大会(場所:大分県宇目町)主催/宇目町蔵小野地区【地区長 市川☎0972-52-1612】  
宇目町には北川ダムがある。
- 6日(日)/NBCチャプター大分第3戦バリバスカップ(場所:大分県大山町)主催/NBCチャプター大分【安藤☎090-8418-0431】大山町には松原ダムがある。

# ダムと水源地

藤吉 洋一郎

NHK 解説委員



長野県の田中康夫知事の「脱ダム宣言」が各地で大きな波紋を呼んでいる。

川の流れを変えたり、せき止めて水を溜めたりしても、それが水田に水を引くためだったり、生活用水を確保するためであつたうちはあまり人々の疑問の声は上がらなかった。

ダムや水源地の問題が次代に人々の生活の実感からかけ離れてきたのは、高度成長の時代に新たな工業地帯の水を確保するためにたくさん水が必要になったあたりからではないだろうか？

木曽川の上流に平成8年にできた長野県木祖村の味噌川ダムと、少し南の長野県大滝村に昭和36年に造られた牧尾ダムを2年前に訪問したことがある。

牧尾ダムは昭和59年の長野県西部地震のときに起きた御獄山の山腹崩壊で、未だに流入する土砂の取り除きに追われており、大滝川の上流一帯はまだ災害の傷跡が生々しい光景だつた。一方、味噌川ダムはこれとはきわめて対照的だつた。地元で切り出した岩石をきれいに積み上げたダムの本体は、コンクリートの冷たい塊と違つて、あたりの景色にうまく調和している。奥木曽湖と名づけたダム湖の周りには周遊道路やボート遊びのできる施設がつくられ、人々の憩いの場にもなつていた。完成を機にダムのほとりに建てられた石碑には地元の人たちの期待

と誇りの言葉が刻まれていた。

このように最近では河川管理やダム計画の進め方が環境とか地元住民の生活とかを重視するよつに様変わりしてきた。しかし、あちこちで批判や疑問の声が上がっているのは、ひと昔も



ふた昔も前の考え方で計画されたものがまだまだ多いからではないだろうか？

一体何のためにダムを造るのか、そこに代々暮らしてきた人々の生活基盤を奪つてまで、どうしてダムが必要なのか？新しい考え方できちんと応えて欲しいものである。

# 水源地対策のあゆみ（その2）

国土交通省河川局河川環境課流水管理室  
流水計画係長

小池 栄史

## はじめに

二月号に引き続き、「水源地対策のあゆみ」を紹介いたします。前回では、ダム建設の歴史と水源地対策の変遷について年表で紹介しました。水源地対策は、当初起業者を中心とした補償による対応が行われその後、地方自治体や下流受益地などを含めた対応により多様化してきました。本号では、水源地対策が果たしてきた役割とこれからの水源地対策の方向性について紹介いたします。

## 水源地対策が果たしてきた役割

ダム事業を契機として実施した水源地対策は地域の活性化を図り、様々な地域づくりを推進してきました。ここでは代表的な事例を紹介いたします。

ダムを核とした地域づくり（金山ダム・北海道）

ダム周辺整備によりダム湖畔を活用した滞在型リゾート地の形成と活発なイベント開催による地域活性化への取り組み

金山ダム周辺では、豊かな自然の中で湖畔のキャンプ場やダムサイト下流の広場がダム周辺

整備事業により整備され、それにあわせ地元南富良野町はログホテル等の宿泊施設の整備を行いました。こうした連携により滞在型リゾート地として夏場に多くの利用者があります。



夏場の金山ダム

また、カヌー体験試乗、野球大会、親子触れ合いカヌーハイキング等のイベントや行事等を行い、地域をあげての取り組みが進められ地域の活性化に向けての契機になっています。

自然環境の保全と復元（漢那ダム・沖縄県）  
魚介類や野鳥等の生息に配慮し、石積護岸とマングローブ植栽等を整備

沖縄総合事務局北部ダム事務所では、ダム建設に当たり沖縄本島北部の豊かな生態系の保全を第一と考へ、全国に先駆けて様々な対策に取り組んでいます。中でも生態系保全に関する基

本的な考え方及び具体的な諸対策について体系的に整理し、「エコダム宣言」としてとりまとめました。



ピオトープ（第二調整池）



マングローブの植栽

上下流交流の展開（ハツ場ダム・群馬県、湯西川ダム・栃木県）

利根川上流の水源地（ハツ場ダム、湯西川ダム）における住民レベルの上下流交流

千葉県では両ダムの建設促進の環境を整えるため、支援策の一つとして連帯意識の醸成・高揚を図ることを目的とした水源地との交流事業を関係機関の協力のもとに継続的に実施しています。

ハツ場ダム、湯西川ダムの千葉県との交流活動は、参加者と地元の方々との絶大な協力を得て、スムーズに運営されています。ハツ場ダム

では、参加者と地元の子童との文通に発展しています。また、地元新聞社同士の連携も行われ、交流事業の様子が紙面に大きく掲載されました。一方、湯西川ダムでは、水源地主民から新聞社に喜びの声が送られ、この記事を読んだ千葉県民からは「写真や絵画」による交流へと発展しています。



ハツ場ダム「水の大使」



湯西川ダム「シクラメン贈呈」

ダム建設が町活性化の牽引力に（寒河江ダム・山形県）

ダム建設が町の活性化の牽引力となり、ダムを中心とした観光立町を目指す

寒河江ダムの水源地域整備計画と連携し、地元西川町では、ダム周辺の観光施設整備を行い地域活性化を推進しています。

寒河江ダム周辺整備では、ダム展望台で国土交通省との協力を得ながら休憩所（月山湖売店）を開設し、地場産品の販売や新規産物の商品開発を行っています。さらに寒河江ダムは、西川町の総合計画で自然と共存しながら独自の観光立町をめざす中心として位置づけられています。



月山湖売店

住民参加による計画づくり（弥栄ダム・山口県・広島県）

行政、住民一体となってダム周辺整備に係わる計画を策定

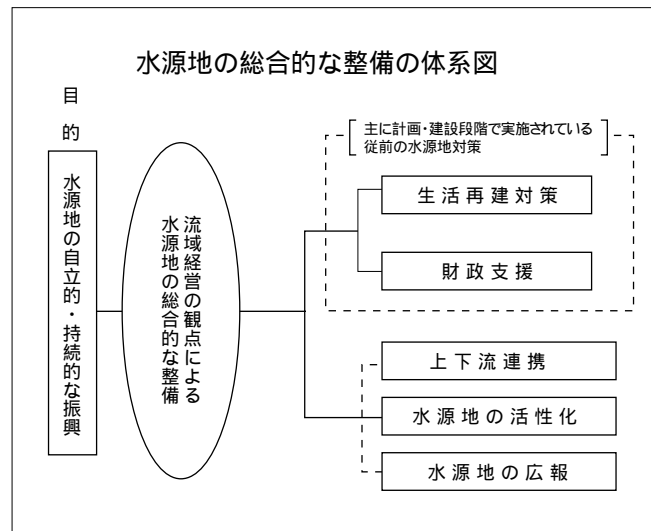
弥栄ダム周辺地域活性化計画では、今後の事業の具体化に向けた施設整備を行うに当たって、計画に興味のある地域住民が参加できるソフトな仕掛けづくりを進めています。

この仕掛けの一つとして、ワークショップが盛り込まれています。これは整備計画等を具体的に進めていくために、地域住民が参加し、話し合っていく会議として位置づけられており、「弥栄ダム環境工房村」ワークショップとして実施されています。

### これからの水源地对策の方向性

#### 21世紀の水源地ビジョン

水源地对策懇談会（第二期委員）は、今後の水源地对策のあり方及びこれを踏まえた行政等関係者の施策の方向性を検討するため、平成9年7月に設置されました。懇談会では次の2項



目を基本的な視点として、水源地の総合的な整備のあり方について検討されました。

- ・ 施設整備を中心としたものから水源地の自立的、持続的振興を支える組織、体制づくりへの転換
- ・ 流域全体の人々の理解と協力による流域全体の持続的発展

#### これらの議論は「21世紀の水源地ビジョン」

水源地の総合的な整備のあり方に関する提言」としてとりまとめられています。

# 第3回世界水フォーラム 運営委員会を設立

◆開催日は2003年3月16日(日)から23日(日)の8日間

第3回世界水フォーラム事務局

## 概要

第3回世界水フォーラム運営委員会が2001年1月29日に東京で設立され、第1回運営委員会での審議を行った結果、第3回世界水フォーラムの基本構想が固まりました。

扇千景国土交通大臣の挨拶で開会した運営委員会では、冒頭に役員の選出が行われ、総勢22名の委員(別表参照)各界の有識者から19名、行政担当3名)の中から、会長には橋本龍太郎元内閣総理大臣が就任しました。

運営委員会では、2003年3月に日本で開催される第3回世界水フォーラムの企画書についての審議が行われ、第3回世界水フォーラムの基本構想が固まりました。

第3回世界水フォーラムは、「オープンな会議」「参加から創造へ」「議論から行動へ」という3つの基本理念の上に築かれており、2003年3月16日から23日までの8日間、フォーラム、閣僚級国際会議、水に関するフェアという3つの要素を中心に、京都を中心とする滋賀・大阪の琵琶湖・淀川流域で開催されるという内容になっています。最近の政府の対応を見ますと2001年3月6日の閣議

において、第3回世界水フォーラムに関する支援と閣僚級国際会議の開催についての閣議了解がなされ、その開催に関し、関係行政機関は必要な協力を行うこととしています。

## 世界水フォーラム開催の背景

### 世界水会議

1992年、水と環境について広く議論を行ったダブリン会議が開催され、さらにブラジルのリオデジャネイロで開催された「地球サミット」において、淡水資源の確保が主張されました。しかしその後頻発する干ばつや砂漠化、全世界に発生する大水害、国際河川や地下水の水質汚染が発生するなど、水に対する国際社会の取り組みが不十分とする認識が、1990年代、世界的に広がってきました。

このような情勢の下、世界各国の専門家、学会、国際機関が中心となり、水に関する国際シンクタンクを目指す世界水会議(WWC World Water Council)が1996年に設立されました。世界水会議(WWC)では、21世紀の国際社会における水問題の解決に向けた議論を深め、具体的な提案を興し、その重要性を広く世界にアピールするための「世界



第1回運営委員会の模様

水フォーラム」が提案され、第1回世界水フォーラムが1997年3月、モロッコのマラケシュで開催されました。

第1回世界水フォーラムでは、「マラケシュ宣言」が採択され、「21世紀における世界の水と生命と環境に関するビジョン」(Vision for World Water, Life and the Environment in the



## 第3回世界水フォーラム運営委員会委員

会長

橋本 龍太郎 元内閣総理大臣

有識者委員（アイウエオ順）

秋山 喜久 関西経済連合会会長

荒巻 禎一 京都府知事

今村 奈良臣 食料・農業・農村政策審議会会長、東京大学名誉教授

梅棹 忠夫 国立民族学博物館顧問

江崎 玲於奈 芝浦工業大学学長、ノーベル物理学賞受賞者

大内 照之 世界自然保護基金ジャパン（WWF-J）会長

川那部 浩哉 滋賀県立琵琶湖博物館館長

紺野 美沙子 国連開発計画（UNDP）親善大使、女優

曾野 綾子 日本財団会長、作家

高島 肇久 国連広報センター所長、前NHK放送総局特別主幹

高橋 裕 世界水会議（WWC）理事、東京大学名誉教授

丹保 憲仁 北海道大学総長、日本学術会議会員

坪井 栄孝 日本医師会会長、世界医師会会長

中川 博次 水資源開発審議会会長、京都大学名誉教授

西尾 武喜 名古屋都市センター理事長、日本水道協会名誉会員

森島 昭夫 地球環境戦略研究機関理事長、名古屋大学名誉教授

師岡 愛美 全日本自治団体労働組合（自治労）副中央執行委員長

和田 正江 主婦連合会会長

行政側窓口委員

外務省総合外交政策局国際社会協力部長

国土交通省土地・水資源局水資源部長

環境省環境管理局水環境部長

第3回世界水フォーラム事務局長

尾田 栄章

## 第3回世界水フォーラム（3rd World Water Forum）

のロゴマークを世界から募集しています。

あなたの「水」のイメージを表現してください。

“3rd World Water Forum”（第3回世界水フォーラム）と、世界水フォーラムの提唱者である“World Water Council”（世界水会議）の2つの名称が入ったロゴマークを募集しています。このロゴマークは2003年の第3回世界水フォーラムだけではなく、WWC（世界水会議）の広報活動においても使用されるものです。

世界中から集められた作品の中から、ウェブサイト上での人気投票や国内外のデザイナー等による選考などを経て選ばれた最優秀作品（1点）には、賞品として10,000米ドルが贈られます。

『第3回世界水フォーラム』&amp; 『世界水会議』

共通ロゴマーク公募事務局

電話：03-5575-6087

<http://www.water-forum3.com/logo>

## 第3回世界水フォーラム事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-2-4 麹町YTビル5F

TEL. 03-5212-1645 FAX. 03-5212-1649

E-mail: [office@water-forum3.com](mailto:office@water-forum3.com)<http://www.water-forum3.com/jp>

Twenty First Century: 世界水ビジョン」を策定することが決定されました。

そこで世界水会議（WWC）では、「世界水ビジョン」を策定するために1998年8月に「21世紀に向けた世界水委員会（World Commission on Water in the 21st Century）」を発足させ、2000年3月17日から22日にオランダのハーグで開催された第2回世界水フォーラムにおいて「世界水ビジョン」が発表されました。

その世界水ビジョンを達成するための重要な措置として、次の5つが挙げられています。  
● 食糧生産に必要な水の管理（水の生産性の向上）：水1滴あたりの生産量の増加、貯水量増加）

● 水管理方式の代替（水関連サービスの有料化、サービス指向の管理、地域社会への権限付与、国際河川流域における協力強化）

● 生態系の機能評価

● 改革支援

● 資金源の確保

## 第3回

## 世界水フォーラム日本開催

2000年3月の第2回世界水フォーラム後にハーグで行われたWWC理事会において、第3回世界水フォーラムの日本開催が正式に決定されたことを受け、日本においても政府関係省庁が連携して関係省庁準備会議を平成12年6月に設置し、予備的検討を開始しま

した。

また、関係機関、団体、学会、専門家、NGO等幅広い層の参加を得て第3回世界水フォーラムを成功させるべく、同年7月、「第3回世界水フォーラム準備事務局」を開設しました。「第3回世界水フォーラム」の概要は次のとおりです。

・開催日程/2003年3月16日(日)〜23日(日)  
・開催場所/京都、滋賀、大阪  
・基本理念/「オープンな会議」「参加する会議から、一人一人が創る会議へ」「議論から具体的な行動を実現する会議へ」  
・基本構成/「フォーラム」「閣僚級国際会議」「水に関するフェア」3本柱によって構成される予定



## 温井ダム完成に期待膨らむ 最高水位到達記念放流

中国地方整備局が広島県山県郡加計町と戸河内町境の太田川水系滝山川に建設を進めている温井ダムは、太田川の洪水調節、広島市とその周辺地域への水道用水の供給、生態系等にとって必要な河川環境の保全、ならびに発電を目的とした多目的ダムで、アーチ式コンクリートダムとしては、富山県の黒部ダムに次ぐ高さ156mの高さを誇っています。

平成11年10月26日から、ダム本体および基礎地盤の挙動観測、管理設備等の機能確認等を行うための試験湛水を実施しております。本年1

月28日、最高水位に到達したため、クレストゲートからの記念放流を完成間近な温井ダムで、地域住民にその重要性に対する理解をより一層深めてもらうよう、一般公開で行いました。

当日、午前11時から予定されていた記念放流は、予想をはるかに上回る来場者により周辺道路が大渋滞したため、15分遅れての開始となり、また急きよ午後1時からの追加放流も実施しました。

5門のゲートから40m/sの水が約120mの落差で滝のように流れ



クレストゲートからの記念放流



私の名は「龍姫湖(りゅうきこ)」です

落ち、副ダムに水煙を舞い上げ始めると、そのすばらしい美しさと迫力に広島市などから訪れた約8000人の来場者から大きな歓声があがりました。また、温井ダムに対する機能や役割、地域への貢献など期待の声があちらこちらから聞かれました。

1月22日、地元の伝説にちなんで「龍姫湖」と命名された広大なダム湖も人々を魅了しています。

温井ダム建設は、いよいよ最終段階に入り、試験湛水、付替道路、地域振興を担った滝山峡記念庭園・ぬくい夢の丘などの周辺整備を終え、平成14年3月に建設事業を完了させる予定です。

# 札内川ダムに 自然を生かした村づくりを期待して



北海道中札内村  
政策調整課長

毛利 勝二



札内川ダム全景

北海道十勝川水系札内川の上流に建設された札内川ダムの所在地である中札内村は、帯広市に隣接し人口約4100人の農業を基盤とする村であります。十勝川三支川の一つである札内川の中流に位置することから「中札内」と名づけられており、倭人入植以来百年に満たない、歴史的には浅い地域です。札内川の語源はアイヌ語の「サツ・ナイ（湧いた川）」に由来します。

村は、中核都市帯広市に隣接することから交通至便な地であり、帯広市には10km程度の行程です。南西部山麓森林地帯はその大半が国有林地帯でした。村の南西地帯には、標高200m前後の平坦な沃野約6000haの農耕地を生かし（日本最後の秘境といわれる日高山脈山麓急流地帯を除き）優れた指導者の手により、いち

早く農業の法人化、有機農業の村宣言 等で全国に名を馳せた畑作中心の村です。

1984年、十数年間運動が進められてきた日高中部横断道路建設が浮上し、「自然保護が開発か」の議論が全国規模で行われ、静かな農村に「上流地域開発」という命題が登場したものです。

その2年後には、中央横断道路の付替えを含む札内川ダム建設が具体化し、併せてダム貯水を生かしての広域水道、2万haにおよぶ畑地かんがい事業が計画され、村は巨大開発事業の波に翻弄された時代でした。

堤高114m、堤長300m、総貯水容量5400万m<sup>3</sup>、重力式コンクリートダムの札内川ダムは、1994年4月建設事業を終え管理体制に入りました。

建設着手以来、札内川ダムの持つ機能は21世紀の村づくりに欠かすことのできないものであるとして「自然保護と開発の調和」をモットーとする村の意向をダム側に強く求めた住民組織がありました。

「札内川上流地域開発研究センター」です。ダム完成後の管理体制を予測し、常時建設協議会を開催する中から、ダム堤体下流広場における整備計画の立案、施設の整備、工事現場跡地の村の取得、ダム湖の名称「とかちリュウタン湖」・札内川ダム十景の選定、モニタメントの設置、堤体内部のエレベーターの一般開放等々すべてダム側と地元協議のなかで進められました。

ダム建設ではこうしたことが、平成10年度土木学会技術賞、無事故無災害で労働大臣賞を受



やまべ放流祭

賞する理由になったと考えられます。

札内川ダムのみを生かしての村興しは、ダムの所在地が中核都市帯広市から50kmの山奥にあることから、期待できるものではありません。

村では他の既存の施設と、斬新な挑戦を繰り返している村民の意欲を背景に、ダムを活性化剤としたいと考えます。

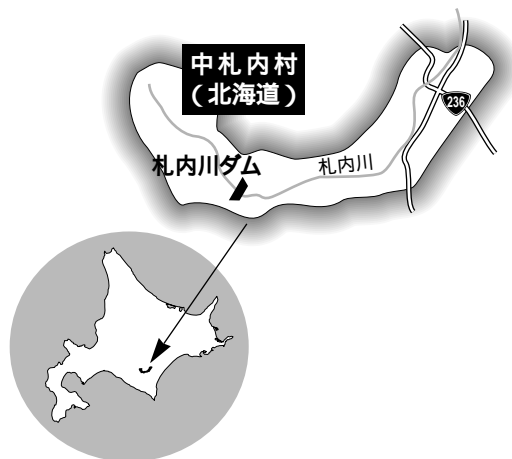
村内に進出している美術村（年間10数万人の入館地）、タレントが経営する花畑牧場、札内川および札内川ダムと関連のある西札内ダムと十景、アイヌの祖の像、広域水道浄水場と隣接する全国初の流木処理施設（授産事業として運営）、直轄砂防ダムで堤長日本一の砂防ダムと上水道・畑地かんがい用取水地公園・水の精の



リュウタン湖モニュメントの竜

モニュメント、さらに上流地域殉難者の碑、等があります。また、その上流に、村の「札内川園地（ピユウタンの滝）」、ここには日高山脈山岳センター、1000台の大駐車場、野外ステージ、付近には国内最大級といわれる氷河期の残存種ケシヨウヤナギ群生地、貴重なエゾサンシヨウウオ産卵池（用地を村が取得）等、この園地には年間十数万人の来園者があります。

この園地より3kmの地点に札内川ダムがあるのです。  
本年2月には、村・ダム管理所・広域水道の三者で、「水源地ネットワーク協議会」を発足させました。



従前個々に行ってきたイベントを、連携を密にして行うということ、日本一と言われる清流を地元の手で守ろうという主旨、このことによつて、広域水道の水道週間行事、授産事業の流木祭、札内川園地で開催される「やまべ放流祭」と「ピユウタンの滝感謝祭」、札内川ダムが行う「リュウタン湖まつり」、さらには西札内地区の「火祭り」等が、上流一帯の年間を通じて（実際は夏期6ヶ月に限られる）行われるイベントとなり、上流地域に夜明けをもたらすものである…と信じています。

貴重な自然を生かしての村づくり、その要は札内川ダムにあることを期待し努力し続けま

# 平成13年度 河川総合開発事業関係予算の概要

国土交通省河川局治水課

表 平成13年度予算別表

【全体額】			
	平成13年度配分額 (474,995百万円)	前年度 (493,500百万円)	対前年度倍率 (0.96)
事業費	483,825百万円	504,532百万円	0.96
国費	324,953百万円	337,235百万円	0.96
----- (内訳) -----			
<b>直轄公団事業</b>			
	(306,141百万円)	(309,892百万円)	(0.99)
事業費	314,971百万円	320,924百万円	0.98
国費	232,109百万円	235,930百万円	0.98
<b>補助事業</b>			
事業費	168,854百万円	183,608百万円	0.92
国費	92,844百万円	101,305百万円	0.92

(注) 1 河川等関連公共施設整備促進事業、下水道関連特定治水施設整備事業、公共事業重点化枠及び日本新生特別枠を含んだ額である。  
2 上段( )書は、水資源開発公団の民間借入金の当該年度の借入額(13年度配分額468百万円、前年度648百万円)を含み、過年度借入にかかる償還額(13年度配分額9,298百万円、前年度11,680百万円)を除いた額である。

【河川等関連公共施設整備促進事業】			
	平成13年度配分額	前年度	対前年度倍率
事業費	15,710百万円	16,699百万円	0.94
国費	8,100百万円	8,697百万円	0.93

【下水道関連特定治水施設整備事業】			
	平成13年度配分額	前年度	対前年度倍率
事業費	11,806百万円	15,325百万円	0.77
国費	5,953百万円	7,731百万円	0.77

【生活関連等公共事業重点化枠】			
	平成13年度配分額	前年度	対前年度倍率
事業費	9,961百万円	16,599百万円	0.60
国費	6,521百万円	10,627百万円	0.61

【日本新生特別枠】			
	平成13年度配分額	前年度	対前年度倍率
事業費	16,064百万円	-	-
国費	10,637百万円	-	-

事業費には、利水者負担金を含まない。

## 1. 平成13年度予算概要

平成13年度河川総合開発事業予算では、多目的ダム等の建設により、治水対策と合わせて湧水が頻発している地域等において、水資源開発を推進し、信頼感ある国土の形成に資するとともに、自然と調和した健康な暮らしと健全な環境の創出や個性あふれ活力ある地域社会の形成を図ることを目標としています。

また、新規着手事業を厳選し、完成間近なダムへの優先配分することにより、事業の絞り込みを行うことによる重点化を図る、早期の機能発現を図るために完成間近の事業や、施行遅延による事業費増を防止するため本体建設中の事業、水没地権者の生活安定を早期に実現するための生活再建対策実施中の事業等について優先的に投資を行うことによる

## 2. 予算配分の重点項目

る効率的な事業の進捗を図る、生活・衛生環境の向上や地域の振興に資する事業や、都市の安全性・利便性の向上に資する基盤整備、国民生活上緊急に取り組むべき環境対策や、少子高齢化に対応した施設整備等に対応した事業に重点投資を行うことにより、豊かで美しい日本の新生を支える社会資本の整備を行うこととしています。

具体的な予算額は、全体額で事業費で474,995百万円(対前年度0.96倍)、国費で324,953百万円(対前年度0.96倍)となっております。(別表)

主な重点事項は次の通りです。  
緊急治水対策  
度重なる湧水により日常生活や産業活動

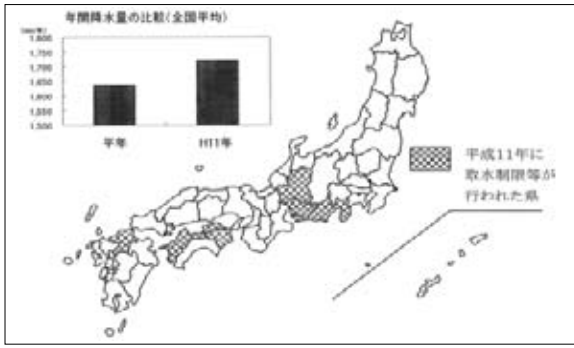


図1 豊水年であった平成11年も洪水が発生



図2 迅速な確かな災害情報の提供のための施設整備

に深刻な影響を受けている地域において安心して生活できる地域づくりを目指して緊急的洪水対策を推進し、生活用水の安定給水に資する水資源開発施設の整備を行います。

平成13年度は、摺上川ダム東北地方整備局等35事業を重点的に推進します。(図1)

地域生活用水確保対策

水量・水質の安定した水源に乏しい地域において、不安定な水利用状況の改善と地域の安全・活性化に貢献する小規模な生活貯水池の整備を促進します。

平成13年度は、中野方生活貯水池(岐阜県)等40箇所を重点的に推進します。

迅速な確かな災害情報の提供のためのIT防災基盤整備

ダム放流時等の危険なエリアにいる人々に危険を迅速に周知させるため、ITVカメラ

の設置や放流情報の提供のための情報表示板等を整備します。

平成13年度は、大川ダム(福島県)等28箇所において必要な施設整備を重点推進していきます。(図2)

廃材再利用等の徹底による環境対策

ダムに漂着する流木をチップ化、堆肥化、炭化するなど、資源としてリサイクルを可能とするためのダム管理施設整備及びリサイクル化を推進します。

平成13年度は、真名川ダム(福井県)等16箇所において必要な施設整備を推進していきます。(写真)

安全な飲料水確保等のための緊急水質改善対策

安全できれいな水の確保を図るため、汚濁が著しいダム等貯水池において直接浄化、底泥の浚渫等の浄化対策を実施します。

なお、緊急洪水対策、地域生活用水確保対策については生活関連等公共事業重点化枠、それ以外については、日本新生特別枠をそれぞれ必要箇所に分け、事業の重点実施を図ることにしました。

### 3. 新規事業箇所について

#### 筑後川水系ダム群連携事業

##### (直轄河川総合開発事業)

筑後川流域は水道用水や農業用水等の幅広い水利用が行われていますが、近年の少雨化の影響もあり、頻繁に洪水が発生する等良好な河川環境の維持、既得用水の安定的取水等が困難と



ダムに漂着した流木をチップ化して再利用

なっています。このため、安定的な河川流量(不特定用水)の確保が急務となっており、筑後川本川中流部から江川ダム、寺内ダムまでを導水路で結び、小石原川ダムを含めた3ダムの効率的な活用を図ることにより、不特定補給を行い、流水の正常な機能の維持を図ります。

切目川ダム建設事業

(補助多目的ダム建設事業)

和歌山県の切目川流域では、下流部の市街化の進展により洪水氾濫区域内の資産が増加する傾向にある中で、昭和63年、平成3年、5年と度重なる洪水被害を受けており、早急な治水対策が望まれています。一方、利水についても過去10年間に4回の洪水被害が生じています。また、利水者である印南町では水道水源の一部を取水が不安定なため池等に依存しているため、ダムによる水道用水の開発に大きな期待がよせられています。このため、切目川上流に洪水調節、河川環境の保全、水道用水の確保を目的としたダムを建設します。

#### 水無瀬生活貯水池建設事業

##### (補助多目的ダム建設事業・岐阜県)

水無瀬川流域は局所的な集中豪雨頻発地域であり、近年では、平成4年8月、平成11年6月と9月の豪雨により洪水被害に見舞われるなど抜本的な治水対策が望まれています。また、美濃加茂市等2市5町の水道用水を供給する可茂用水では、平成6年をはじめ、近年では、ほぼ2年に1回の割合で洪水の被害を受けており、異常洪水対策が必要となっています。このため、木曾川水系飛騨川の支川水無瀬川上流に洪水調節、異常洪水時等の緊急水補給を目的とした生活貯水池を建設します。

## 第8回鶴田ダム ジョギング大会

3月4日、鹿児島県薩摩郡鶴田町にある鶴田ダムで、第8回鶴田ダムジョギング大会が開催された。

当日は、みぞれまじりの雨、風がふきつけるなか、県内外より約900人の参加者がジョギング1km、3km、5km、ウォーキングの各コースに分かれ、思い思いにダム湖畔を駆け抜けた。

レース終了後参加者には、豚汁・おにぎりがふるまわれ、冷え切った体を温めていた。

会場内では、健康相談・血圧測定コーナーや町特産品販売も行われ、会場に訪れた人たちに喜ばれていた。



## しまぢがわ 島地川ダム・ 高瀬湖周辺卒業記念植樹

3月6日、今年で5回目を数える

卒業記念植樹が、山口県島地川ダム・高瀬湖畔広場で地元和田田小学校6年生10名を迎えて行われた。

当日は、肌寒さをかんじたもの、まずまずの天候であった。「広場はダム湖畔の小山を整地した跡地で、周辺には桜、もみじが植えられている。将来、この地を訪れたとき、大きく育った木を見て、きつと卒業当時を思いだし、なつかしむことと思われる。参加した児童は、スコップを片手に一生懸命植樹していた。



## 4800人 早春の綾山湖を 快走

3月11日、香川県綾歌郡綾上町粉所にある田万ダム周辺で、綾上町米の里ジョギング大会が開催された。2・5km、5km、10kmの3部門で大阪岡山、四国4県から参加した。5歳から79歳までの男女、479人が健



脚を競った。この大会は、大正天皇即位式の主基斎田に選ばれるなど「米の里」としての綾上町をアピールする目的で行われている。今年も7回目の大会にふさわしく参加賞も綾上産コシヒカリ、米をデザインしたTシャツなどが配られ、レース終了後はボランティアによって、おむすび・讃岐うどんなどが配られ、参加者は思い思いに交流を深めていた。

## 国連水の日シティアピール 2001 in 大宮

3月16日、18日、JR大宮駅において八ッ場ダムおよび水源地域となる群馬県長野原町のPR活動が開催された。3月22日の「国連水の日」に因み、八ッ場ダムの受益者である埼玉県民にダム事業や水源地域への理解と協力を促すことが目的である。

JR大宮駅西口コンコースに設けられたブースにおいて八ッ場ダムや長野原町の紹介パネルが展示された。また16日は川原湯温泉観光協会、17日には長野原観光協会、北軽井沢観光協会が観光PRと水源地域を訪れてくれるよう乗降客らに呼びかけた。



### 編集メモ

前100号記念特別号はいかがでしたでしょうか。増頁の大型企画であったからという言い訳ではありませんが、編集の誤りで誤植をしてしまいました。座談会での神奈川県清川村村長さんは「山口静雄」さんです。深くお詫びして訂正申し上げます。

今回101号では、「水源地对策のあゆみ」が完結し、ダムごとの水源地域ビジョンが多くの人の手により作成されることが示されています。



森と湖に親しむ旬間

平成13年7月21日～31日

## 旬間統一標語

「ふれあいさわやか 森と湖」  
 「もうひとつ ふるさと見つけた 森と湖」  
 「さわやかな 心のオアシス 森と湖」

## 流域上下流の 連携・協力を目指して

流域経営は、流域に暮らす人びとの協力の下、水源地の振興を図ると共に、流域の一体的な発展を目指すものです。

この流域経営の推進に主体的に連携・協力し、その活動が継続的に実行され、かつ流域の発展に果たす功績が顕著であると認められる団体又は個人を表彰します。

### 第2回〈平成13年度〉

# 流域経営功労賞 大募集！

## 【対象】

## 上下流の交流推進活動

交流イベントの実施 ダム周辺の清掃等

## 水源地活性化への貢献活動

水源地産品の定期的購入 上流地域に施設設置等

## 水源地教育・広報活動

ダム・水源地見学会の実施 水源地教育のための副読本作成・使用等

## 水源地自然環境保全・整備活動

水源地の植樹等森林整備 水質の調査・保全等

## 水源地への配慮として行う諸活動

水源地施設等の積極活用等

## 【応募方法】

・「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会事務局へお申し込みください。団体又は個人で応募できます。

## 【応募締切日】

## 平成13年6月8日(金)

## 【入賞発表】

・平成13年7月中旬、受賞団体・受賞者および関係団体に通知します。

主催 / 国土交通省・林野庁・都道府県・市町村

「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会